Part 2

CHAPTER 16

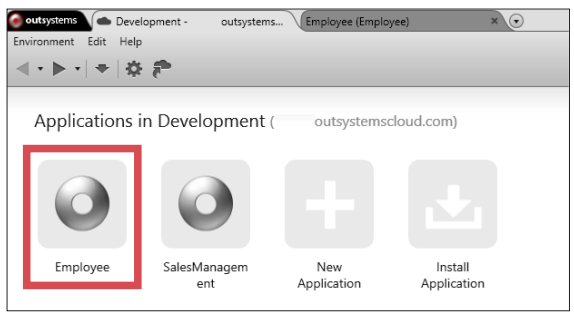
メールを送信する

アプリケーションの複製を作成する

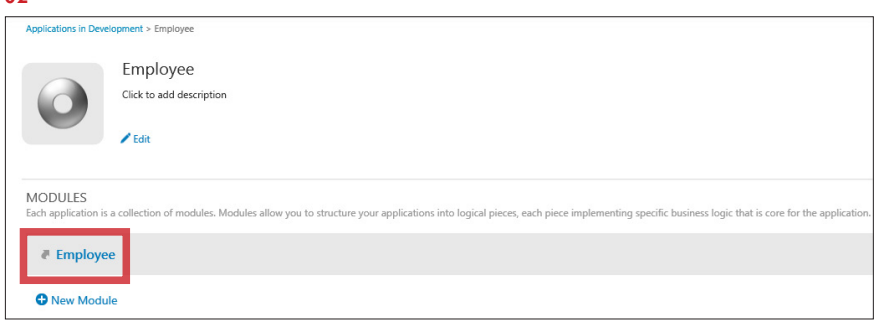
01 「Chapter 1」にて作成した「Employee」アプリケーションをクリックする。

02 「Employee」アプリケーションモジュールをクリックする。

01



02

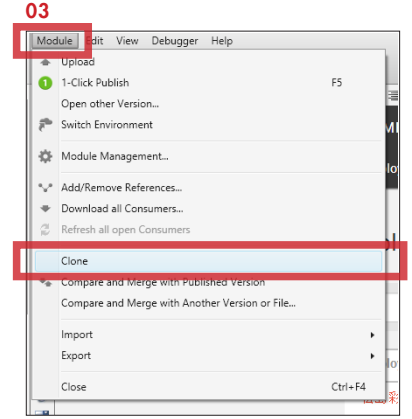


03 メニューバーから「Module」>「Clone」を選択する。

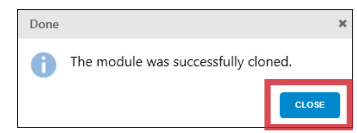
04 出現したダイアログの「CLOSE」ボタンをクリックする。

05 Interfaceレイヤを開き、複製されたアプリケーションモジュールの名前を「CloneOf Employee」から「Employee_16」に変更する。

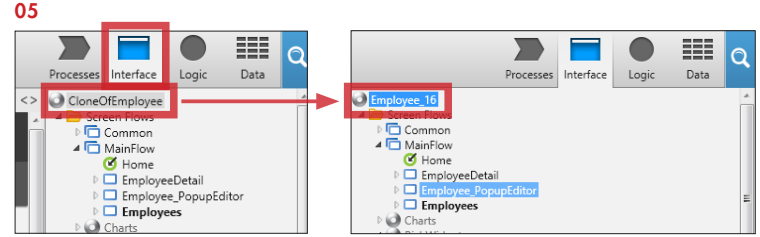
03



04



05



メールの編集画面を作成する

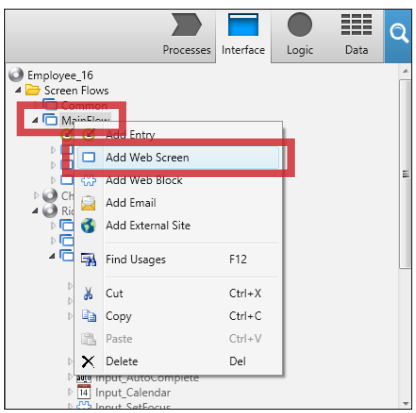
01 Interfaceレイヤを開き、「MainFlow」Web Flow上で右クリックし、「Add Web Screen」を選択する。

02 01で追加したWeb ScreenのNameを「Email_Edit」にリネームする。

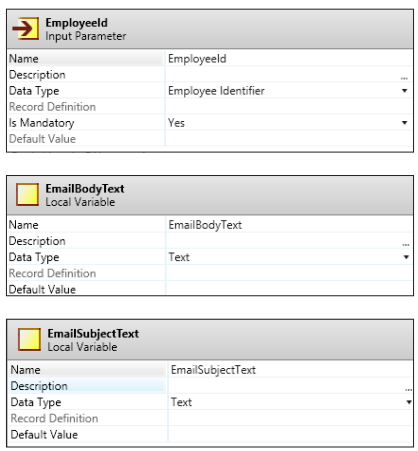
03 「Email_Edit」画面に「EmployeeId」Input Patameter、「EmailBodyText」Local Variable、「EmailSubjectText」Local Variableを追加する。

04 03にて追加したInput Parameter、Local Variableの設定を次の通り行う。

01



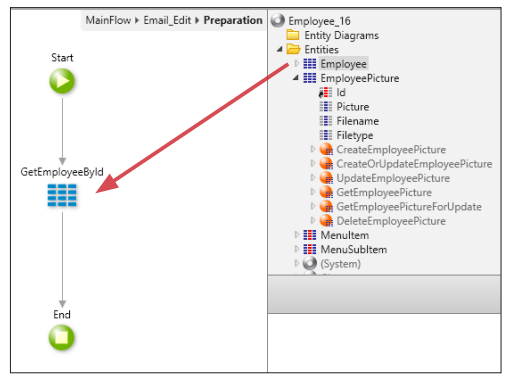
03



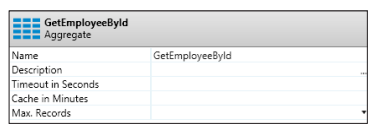
05 「Email_Edit」画面にPreparationを追加し、処理を下記のように配置する。

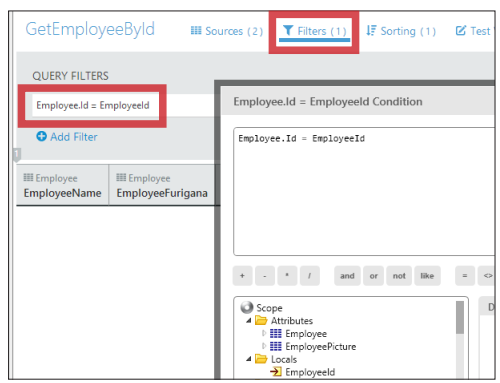
06 05で配置した処理には、次の通り設定を行う。

05



06





07 「Email_Edit」画面を開き、タイトルに「Emailの編集」と入力する。

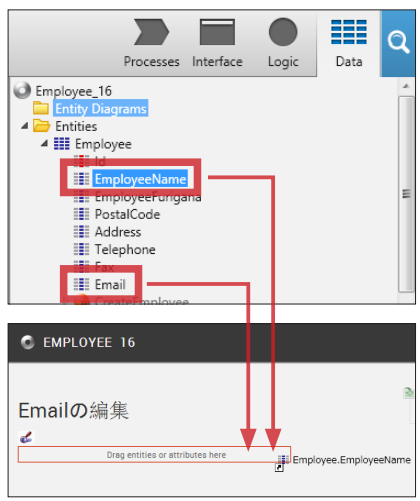
08 左側のツールボックスから「Show Record」をドラッグして、画面中央にドロップする。

09 Dataレイヤを開き、「Employee」Entityの「EmployeeName」Attributeと「Email」Attributeをドラッグし、配置したShow Recordの中にドロップする。

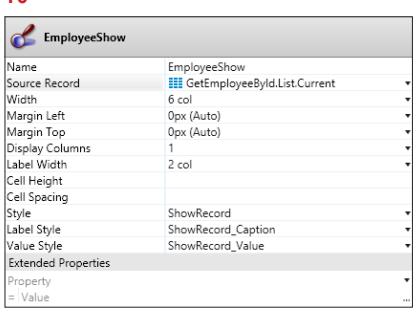
10 Show Recordのプロパティを右記のように設定する。

07・08

09



10



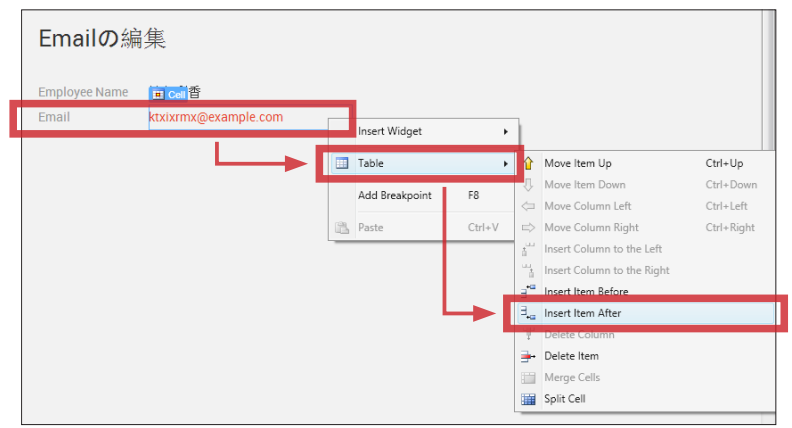
EmployeeShow

Name	EmployeeShow
Source Record	GetEmployeeById.List.Current
Width	6 col
Margin Left	0px (Auto)
Margin Top	0px (Auto)
Display Columns	1
Label Width	2 col
Cell Height	
Cell Spacing	
Style	ShowRecord
Label Style	ShowRecord_Caption
Value Style	ShowRecord_Value
Extended Properties	
Property	
Value	

11 Show Recordの「Email」行で右クリックし、「Table」>「Insert Item After」を選択する。

12 11の操作をもう一度行い、2行目を追加する。

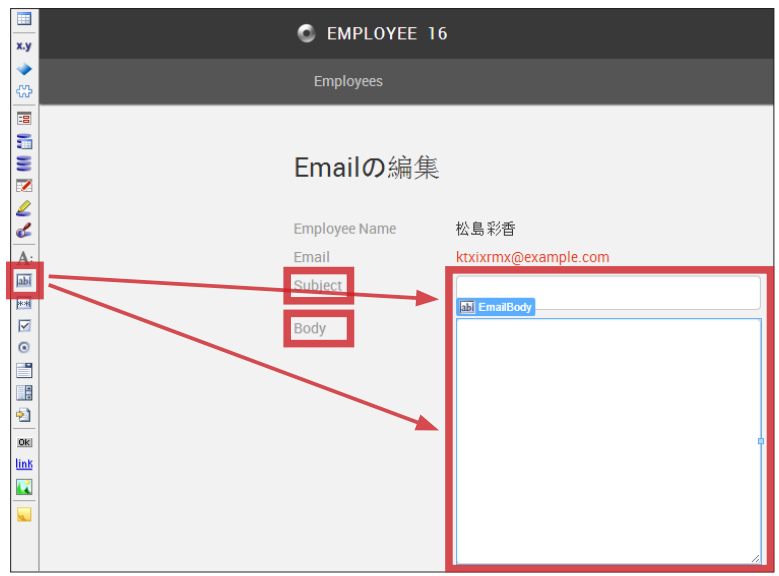
11・12



13 追加した1行目のラベルに「Subject」、2行目のラベルに「Body」と入力する。

14 左側のツールボックスから「Input」をドラッグし、追加した各行のデータ部分にドロップする。

13・14



15 配置したInputのプロパティは、それぞれ下記のように設定する。

15

Input	
Name	
Variable	EmailSubjectText
Validation Parent	
Mandatory	False
Null Value	
Max. Length	100
Width	4 col
Text Lines	1
Margin Left	0px (Auto)
Margin Top	0px (Auto)
Style	
Visible	True
Enabled	True
Type	Text
Prompt	
On Change	
Destination	
Extended Properties	
Property	
= Value	

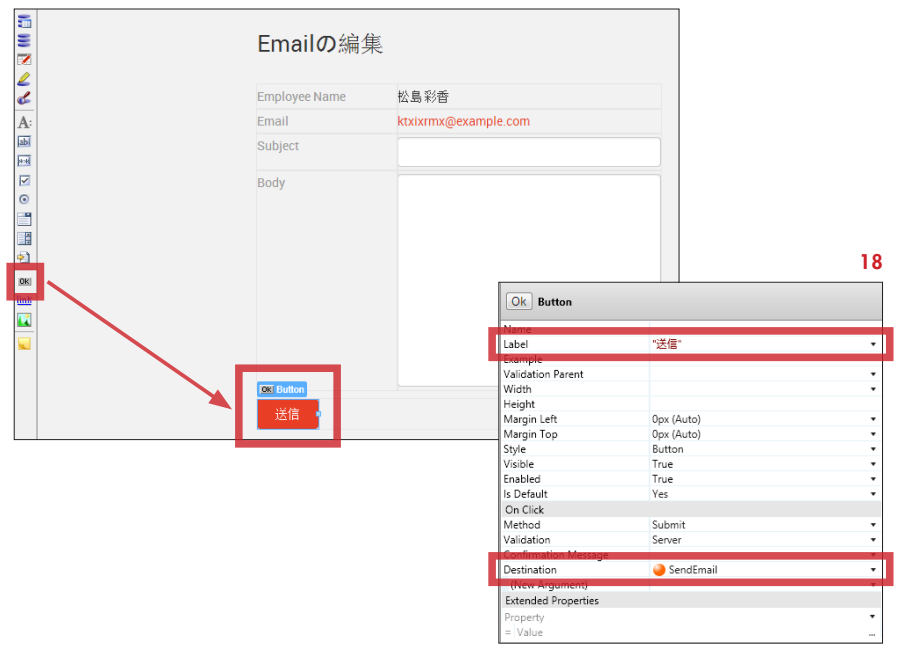
EmailBody	
Name	EmailBody
Variable	EmailBodyText
Validation Parent	
Mandatory	False
Null Value	
Max. Length	1000
Width	4 col
Text Lines	10
Margin Left	0px (Auto)
Margin Top	0px (Auto)
Style	
Visible	True
Enabled	True
Type	Text
Prompt	
On Change	
Destination	
Extended Properties	
Property	
= Value	

16 左側のツールボックスから「Button」をドラッグして、Show Recordの下にドロップする。

17 16で配置した「Button」のプロパティのLabelを「Ok」から「送信」にリネームし、Destinationの右側のドロップダウンリストから「(New Screen Action)」を選択する。

18 「Email_Edit」画面に追加された「Action1」というアクション名を「SendEmail」にリネームする。

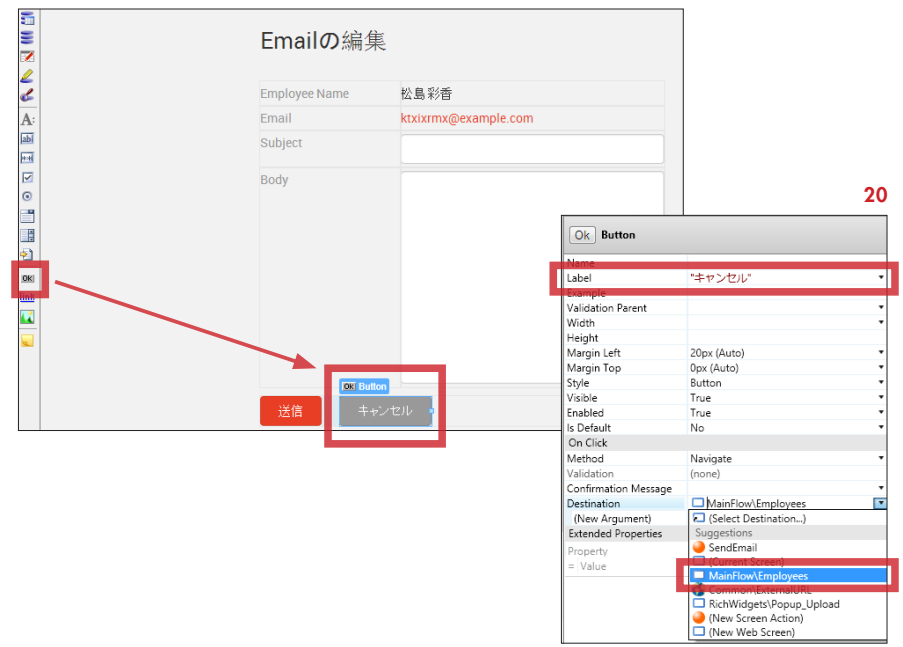
16・17



19 左側のツールボックスから「Button」をドラッグして、「送信」ボタンの右にドロップする。

20 19で配置した「Button」のプロパティのLabelを「Ok」から「キャンセル」にリネームし、Destinationの右側のドロップダウンリストから「MainFlow/Employees」を選択する。

19



Emailのレイアウトを作成する

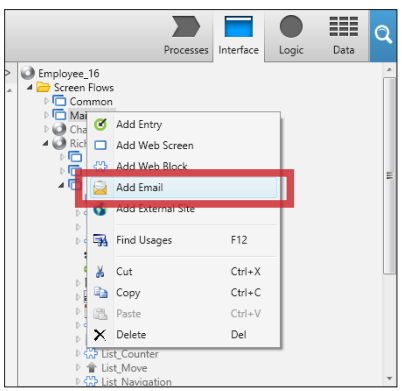
01 Interfaceレイヤを開き、「MainFlow」Web Flow上で右クリックし、「Add Email」を選択する。

02 01で追加したEmailのNameを「Email1」から「EmailToEmployee」にリネームする。

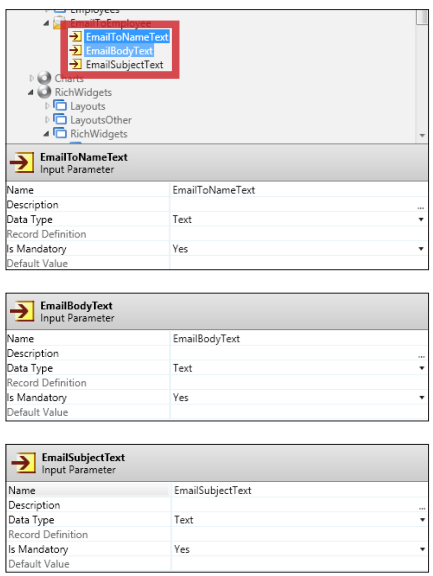
03 「EmailToEmployee」Emailに「EmailBodyText」Input Patameter、「EmailToNameText」Input Patameter、「EmailSubjectText」Input Patameterを追加する。

04 03で追加したInput Parameterの設定を次の通り行う。

01

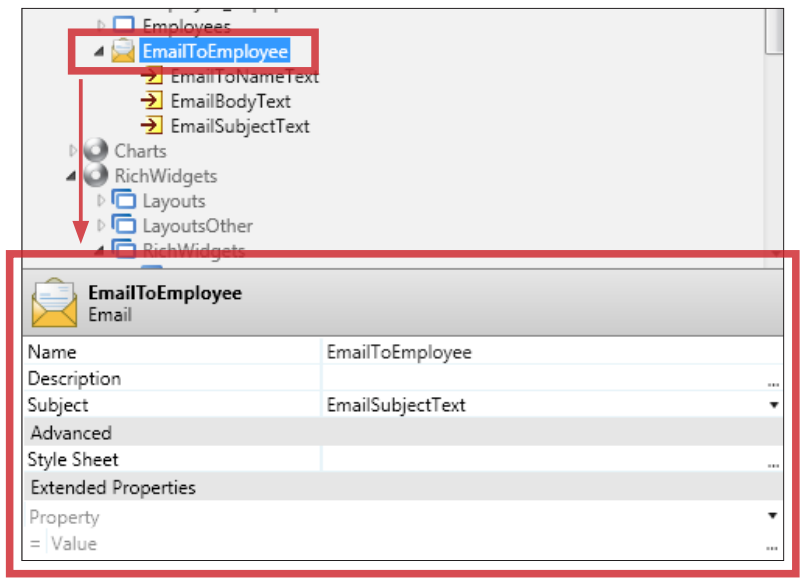


03・04



05 EmailToEmployeeの設定を下記の通り行う。

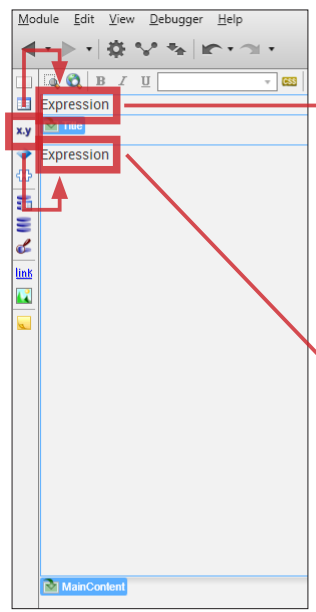
05



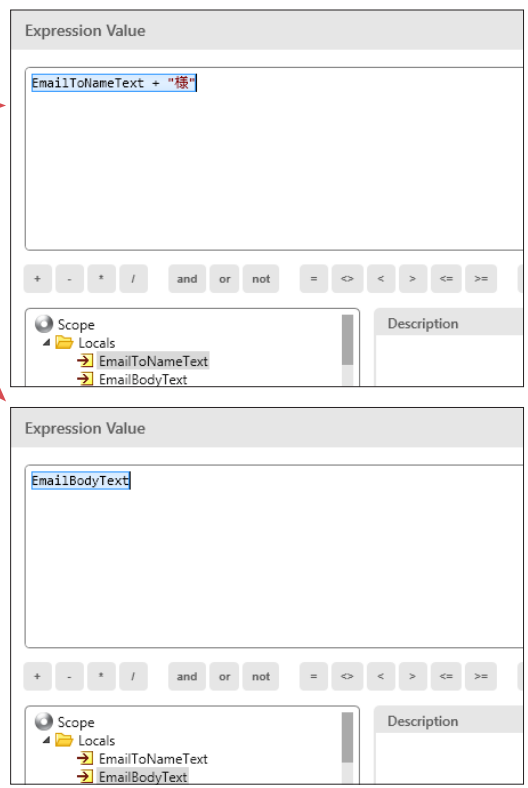
06 左側のツールボックスから「Expression」をドラッグし、「Title」、「Main Container」の中にそれぞれドロップする。

07 06で配置したExpressionには、それぞれ次の通り設定を行う。

06



07

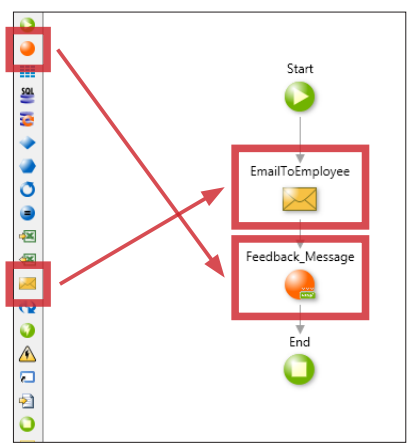


Emailを送信するアクションを作成する

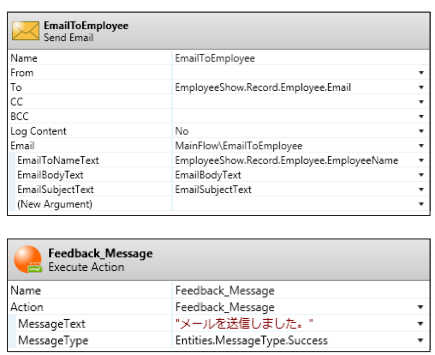
01 「Email_Edit」画面の「SendEmail」アクションの処理を下記のように配置し、リネームする。

02 配置した処理には、それぞれ次の通り設定を行う。

01



02



Email編集画面へのリンクを設置する

01 「Employees」画面を開き、「EmployeeTable」テーブルの「Address」列上で右クリックし、「Table」>「Insert Column to the Right」を選択する。

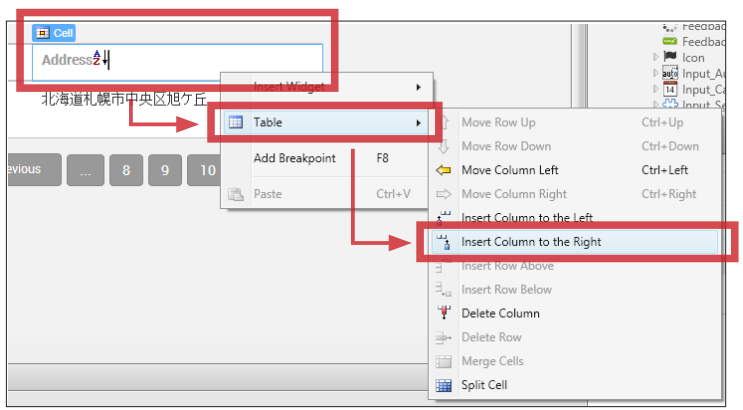
02 左側のツールボックスから「Button」をドラッグして、**01**で追加した列のデータ行にドロップする。

03 **02**で配置した「Button」のプロパティのLabelを「Ok」から「メール」にリネームし、Destinationの右側のドロップダウンリストから「(Select Destination…)」を選択する。

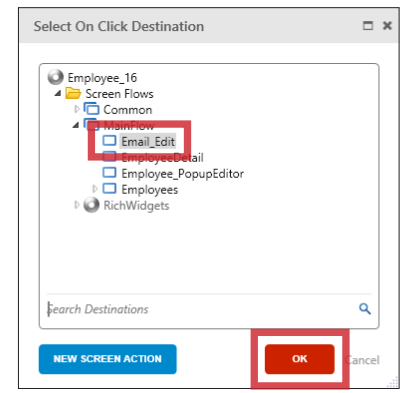
04 出現したダイアログで「Screen Flows」>「MainFlow」>「Email_Edit」を選択する。

05 「Destination」の「Email_Edit」のInput Parameter「EmployeeId」には、次の通り設定を行なう。

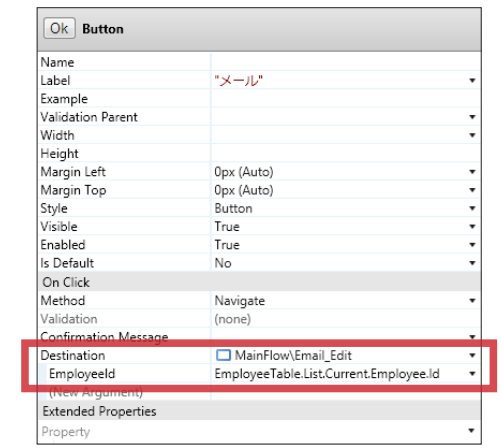
01



04



05



メール送信に使用するアカウントの設定を行う

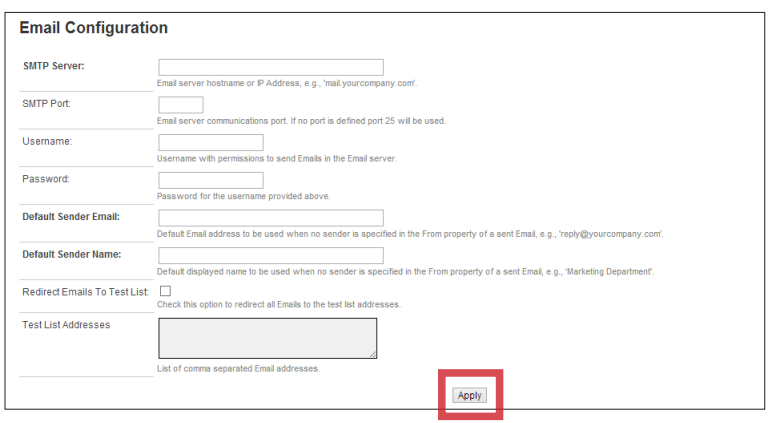
01 Service Centerにアクセスし、「Administration」>「Email」をクリックする。

02 各項目にメール送信に使用するアカウントの情報を入力する。

- 「SMTP Server」メールを送信するサーバのIPアドレスまたはホスト名。
- 「SMTP Port」メールを送信するサーバのポート番号。
- 「Username」SMTPサーバへのログインID。
- 「Password」SMTPサーバへのログインパスワード。
- 「Default Sender Email」送信者情報を指定しない場合の送信者のメールアドレス。
- 「Default Sender Name」送信者情報を指定しない場合の送信者名。
- 「Redirect Emails To Test List」テスト用機能を有効にする。
- 「Test List Addresses」テスト用として送信先に常に含めたいメールアドレスを指定する。カンマで区切ることで複数指定可能。
- 「Apply」ボタンをクリックし、設定を保存する。

03 「Apply」ボタンをクリックし、設定を保存する。

01・02・03



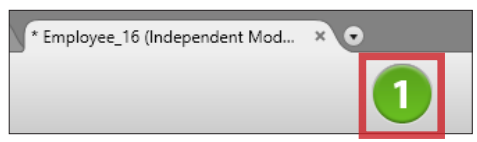
1-Click Publishを行って、アプリケーションの動作を確認する

01 1-Click Publishボタンを押して、Publishを行う。

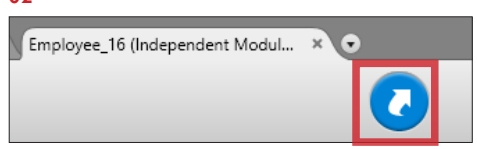
02 Open In Browserボタンを押して、ブラウザを起動する。

03 Employee_16アプリケーションのログイン画面が表示されたら、管理者ユーザでログインする。

01



02

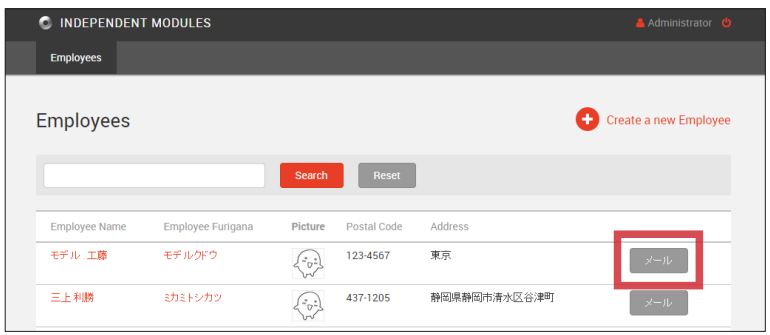


04 従業員一覧ページを開き、メールを送信する従業員の「メール」ボタンをクリックし、メールの編集画面を開く。

05 送信するメールの内容を入力し、「送信」ボタンをクリックする。

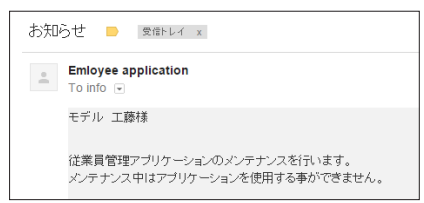
06 届いたメールが、画面で入力した内容と一致するか確認する。メールの送信を行わない場合は「キャンセル」ボタンをクリックし、従業員一覧ページへ戻る事を確認する。

04



05

06

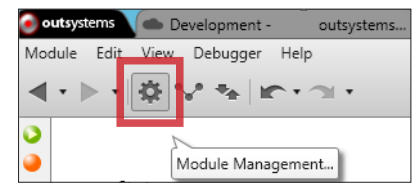
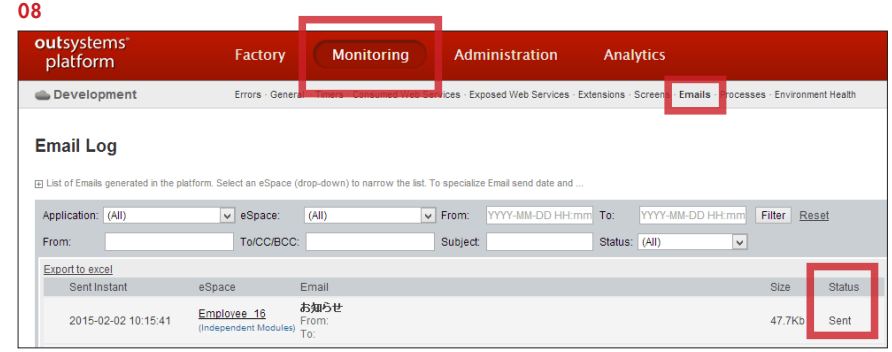


メールの送信状況は、Service Centerの「Monitoring」>「Emails」にて確認することができる。

07 Service Studioを開き、「Module Management」のアイコンをクリックし、Service Centerを表示する。

08 画面上部のメニューから、「Monitoring」>「Emails」を開く。

07



08